

# よーんこーん！ 本校の先輩達

## 校歌に歌われている 「ふるさとの景色」① ～大黒山の自然と歴史に触れて～

本校の校歌「春の章」には、ふるさとの山が「♪大国 高瀬 神名火の 山なみ青く晴れわたり 丘の教室 日にあらた 真理の峯が われを呼ぶゆ」と歌われています。

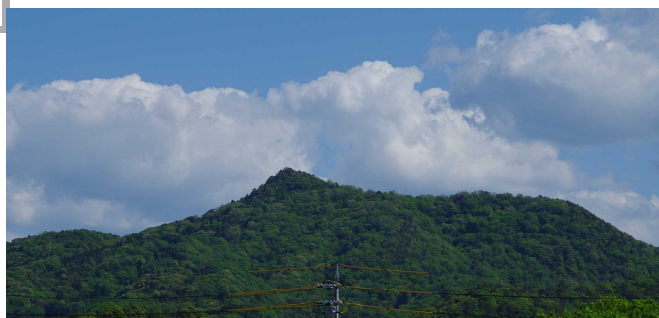
この山々は、神代からの歴史をもち、ふるさとの移り変わりゆく姿をじっと見つめてきました。5月4日のみどりの日に、久しぶりに大黒山に登ってきました。

### 「大黒山」…

斐川町の南東部に位置する標高315.3mの山です。神代の昔、大黒さんと言われている大国主命がスクナビコナの神とこの山に登り、出雲の国に稲作を広めたり、海のことを多く取ったりして国を豊かにしようと平野や内海を眺めて相談なされた所と言われています。頂上近くには大きな岩がありますが、その岩が二神がお立ちになって国内を眺められた所と言われています。

また、大国主命や出雲の国づくりに協力されたスクナビコナの神をお祭りしたのが「兵主（ひょうしゅ）神社」です。この山頂は急なため、雨のため土砂が流れると山が低くなるので、大国主命は大変お嘆きになるので、参拝する人々は砂をもって登るのだそうです。そうすると、不思議に災いがなくなり、作物もよくできるという言い伝えがあります。（この説明文は、山頂にある説明板の解説文から〔現在の説明板は破損がひどく判読不能〕）

登山道は、「みはらしコース」と「新田畑コース」の2つがあり、比較的登りやすい山です。山頂からの眺めは素晴らしく、荘原地区が眼下に一望できるだけでなく、東の宍道湖から正面には島根半島の山々、西に向かっては旧市内・大社方面まで見渡せる絶好のポイントになっています。『学校要覧』によれば、昭和45年から平成3年までの22年間、遠足で3年生が毎年登山していた記録が残っています。ちなみに、本校の遠足は平成7年度から春だけの実施になります。



【▲ 学校から望む大黒山の姿】



【▲ 山頂にある兵主神社】

昭和45年度 遠足の行先		
学年	春の遠足	秋の遠足
1年	宮山公園	蓮台寺
2年	飛行場	荘原巡り
3年	瑞穂大橋	大黒山
4年	愛宕山	斐川町巡り
5年	仏経山	菅原天満宮
6年	高瀬山	旅伏山

